

なにわ筋線の概要

1. なにわ筋線の意義・性格

○近畿地方交通審議会答申第8号（平成16年10月）において、「京阪神圏において、中長期的に望まれる鉄道ネットワークを構成する新たな路線」に位置づけ

[意義]

- ・ JR阪和線、南海本線等を介し、関西国際空港連絡線に直結する路線であり、JR新大阪および京阪神圏の各拠点都市から関西国際空港へのアクセス機能の強化に資する路線である。

○平成21～23年度に実施されたなにわ筋線に関する国調査において、なにわ筋線の整備効果や事業性などについて検討。

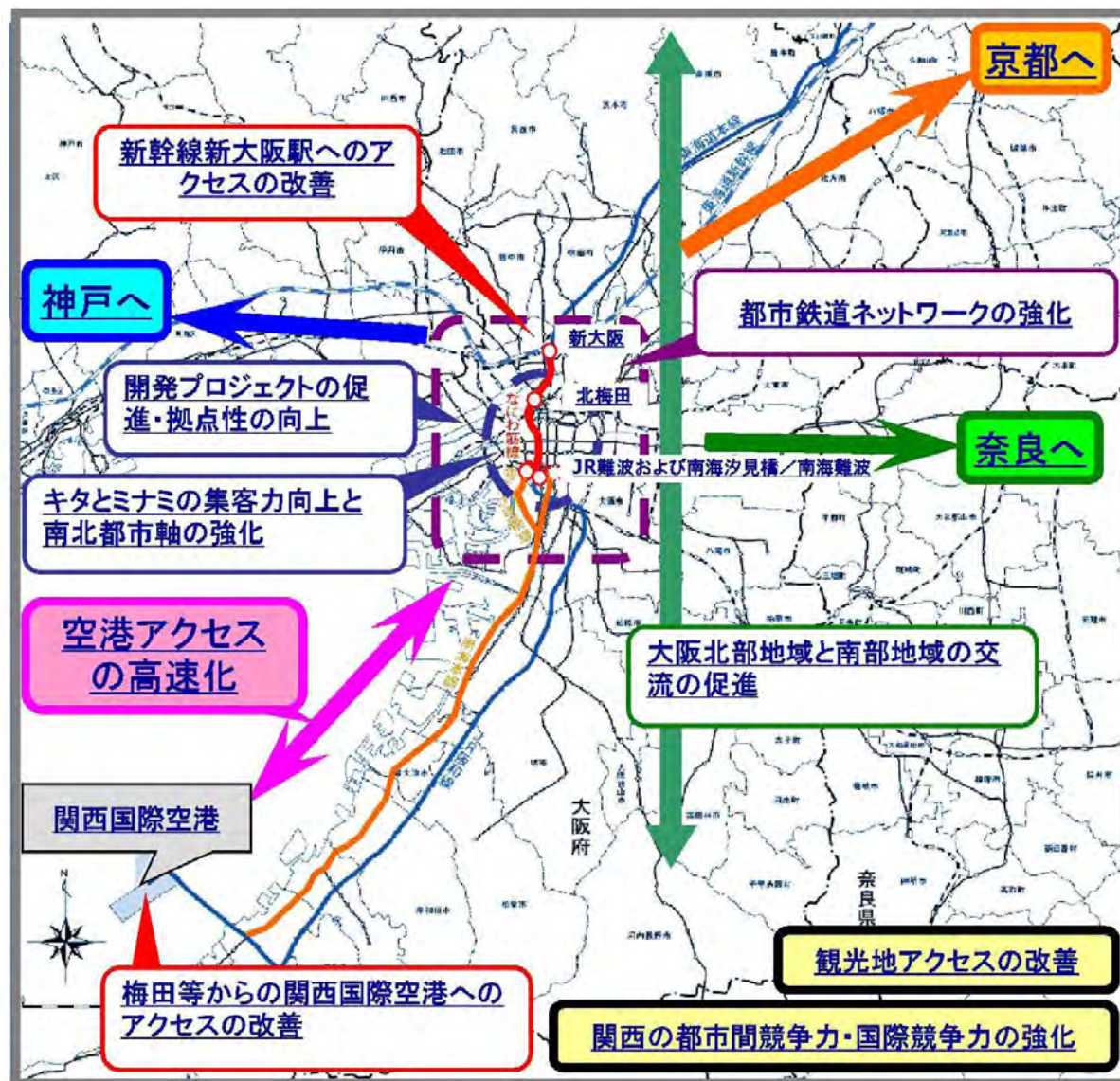
[概要]

新大阪 ～ 北梅田（うめきた新駅） ～ JR難波および南海汐見橋/南海難波

需要予測・費用便益分析・収支採算性等の試算を行い、良好な結果

○現在、大阪府・大阪市・JR西日本・南海電鉄4者で事業化に向け、検討中

なにわ筋線の意義・性格



出典：平成21～23年度国調査結果概要より抜粋

2. 整備効果（時間短縮効果）等

大阪（梅田）から関空

	現状	東海道支線地下化時	なにわ筋線整備時
JR	約68分 (0回)	約51分 (0回)	約46分 (0回) [※1 最速：約40分]
南海	約56分 (1回)	約56分 (1回)	約47分 (0回) [※1 最速：約38分]

※：はるかか天王寺駅にのみ停車した場合には約40分まで、ラピートが南海難波駅又は南海汐見橋駅にのみ停車した場合には約38分まで 短縮の可能性あり。

※：（ ）内は乗換回数

